



# 正しく使おうPPE (personal protective equipment)

## 第3回「PPEの使用場面～場面ごとに使用するPPEの種類、注意点～」

黒須一見

ジース

国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 国立感染症研究所  
薬剤耐性研究センター 第四室 主任研究員  
(併任) 応用疫学研究センター  
職業感染制御研究会 監事

これまでの2回でPPE(個人防護具)の基礎や選定について解説しました。第3回はPPEの使用場面について解説します。

### PPEの使用場面

PPEの使用場面について表1にまとめました。標準予防策では、血液や体液、粘膜などの湿性生体物質に接触する可能性がある場合にPPEを使用します。ここでのPPEは手袋、サージカルマスク、ガウン/エプロン、フェイスシールド、目の保護具です。一方、感染経路別予防策では、標準予防策だけでは感染経路の遮断が不可能な場合、あるいは感染経路が明らかになっている感染症患者に対応する場合に経路を遮断する目的でPPEを使用します。感染経路別予防策でのPPEは、空気予防策ではN95レスピレータ(以下、N95)、飛沫予防策ではサージカルマスク、接触予防策では手袋、ガウン/エプロンが該当します。感染経路別予防策は単独で実施する場合がありますが、複数の感染経路を有する感染症(例:季節性インフルエンザなど)では、複数の感染経路別予防策を組み合わせる実施します<sup>1)</sup>。

表1 PPEの使用場面と使用するPPE

予防策	使用場面	使用するPPE
標準 予防策	血液、汗を除く体液、排泄物、分泌物、傷のある皮膚、粘膜などの湿性生体物質に触れる可能性がある場合に使用する	手袋、サージカルマスク、ガウン/エプロン、フェイスシールド、目の保護具
感染経路 別予防策	標準予防策だけでは感染経路の遮断が不可能な場合に使用する 感染経路が明らかになっている感染症患者に対応する際に使用する	空気予防策: N95 飛沫予防策: サージカルマスク 接触予防策: 手袋、ガウン/エプロン

### PPEの着脱順序

各PPEの着脱順序<sup>2)</sup>を図1に示します。

着用時は最初に手指衛生を行い、ガウンやエプロンを着用、その後、N95やサージカルマスク、フェイスシールドや目の保護具、最後に手袋を着けます。着けるときは、清潔

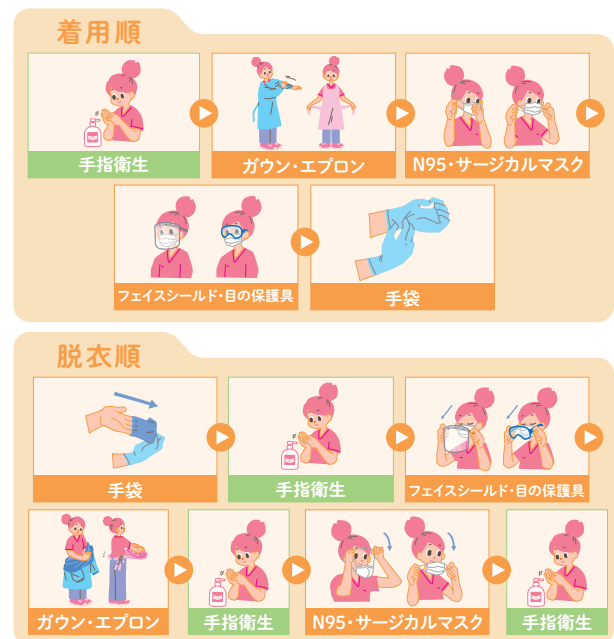


図1 各PPEの着用順序と脱衣順序 文献2を参考に作成

に取り扱うこと、性能を保持できるようにすることが重要です。

脱衣では一番汚染している手袋から外します。手袋を外す際に手が汚染される可能性があるため、手袋を外した後は手指衛生を行います。その後、フェイスシールドや目の保護具、ガウンやエプロンを外し、手指衛生をした後、N95やサージカルマスクを外します。PPEを外した後は目に見えない汚染がある可能性が高いため、最終的に手指衛生を行うようにしましょう。

「PPEを着用し、ベッドサイドでケアを実施しようと思った忘れものに気づいた」あるいは、「ケアの途中で物品が不足したもののベッドサイドや居室内にない」という状況に遭遇することもあるでしょう。その際、PPEはどうしていますか? ケアをする前であればPPEを着用したまま物品置き場へ行ってもよいでしょうか?

一度着用したPPEは、利用者のベッドサイドあるいは居室から離れる場合には外します。未使用なものにもつたいないと思われるかもしれませんが、既に環境などから汚染を受けている可能性があります。未使用のPPEを無駄にしないためにも、ケアの前に物品の確認作業は確実にいきましょう。ま

た、ケア時に物品の不足があった際には、ベッドサイドを離れず、応援を呼び、物品を届けてもらうことも一案です。

## 各介護場面でのPPE

介護の現場で行われる配膳、食事介助、口腔ケア、オムツ交換の4つの場面について、標準予防策に必要なPPEを考えてみましょう。

### Q1. 配膳に必要なPPEはどれでしょうか？

①手袋、②マスク、③PPEは不要

通常、配膳のみであれば③PPEは不要です。利用者に触れたり、テーブルセッティングで環境に触れたりした際には手指衛生を行います。ただし、利用者の病状に応じて必要なPPEを選択します。例えば利用者が咳をしており、相手がマスクを着用できないといった場面では、1m以内に近づく際にマスクを着用するなどPPEを追加します。

### Q2. 食事介助に必要なPPEはどれでしょうか？

①マスク、②手袋とマスク、③手袋とマスクとガウン/エプロン

対応する相手の状況にもよりますが、食事介助では、利用者がマスクをしない状態で1m以内の近距離に接近し、介助を行います。近距離で会話をしたり、食べこぼしを受けたりする可能性がある場合は、②の手袋とマスクを着用します。なお、見守りのみで直接の介助が不要で、咳やむせこみがない場合には、手袋やマスクは不要です。

### Q3. 口腔ケアに必要なPPEはどれでしょうか？

①マスク、②手袋とマスクとガウン/エプロン、③手袋とマスクと目の保護具とガウン/エプロン

口腔ケアでは、③の手袋とマスクと目の保護具とガウン/エプロンを使用します。歯磨きやうがいの際に細かい飛沫が飛散することから、目や鼻、口の粘膜、衣服の保護のためにこれらを使用します。

### Q4. 尿のオムツ交換に必要なPPEはどれでしょうか？

①手袋とマスク、②手袋とガウン/エプロン、③手袋とマスクと目の保護具とガウン/エプロン

尿のオムツ交換では、②の手袋とガウン/エプロンを使用します。尿のみの場合は陰部洗浄を行わないため、接触する手と衣服を守る、この2つのPPEを使用します。便の場合や陰部洗浄を伴うオムツ交換の場合は、飛沫による曝露リスクを考慮し、手袋とガウン/エプロンの他に、マスクと目の保護具を追加します。

普段、実施しているケアでのPPEはいかがだったでしょうか？過剰にしていなかったか、あるいは不足したPPEはなかったか、確認してみてください。

## PPE適正使用のモニタリング

これまでPPEの使用目的、種類、使用場面など基本的な知識について理解されたとと思いますが、現場で適正な使用が

できているか評価することも重要です。職業感染制御研究会では、PPEを適切に着用することにより、効果的に感染症から医療従事者を守ることを目的に、個人防護具適正使用チェックリストを作成し公開しています<sup>3)</sup>(筆者も作成に関わりました)。病院だけでなく福祉施設でも活用できるよう、各PPE別、場面別のチェックリストとなっています。また、チェックリストを使用する際の手引きもありますので、すぐに活用できます。チェックを行い数値化してフィードバックすることで遵守状況の評価が可能です。皆様の施設でぜひご活用ください。

個人防護具適正使用チェックリスト①  
～場面別～

A 着用場面		B 適切な着用	
<b>エプロン/ガウン</b>	YES NA	<b>エプロン/ガウン</b>	YES NA
1. エプロン/ガウン等に着衣が触れる可能性のある前部に着用している	<input type="checkbox"/>	1. エプロン/ガウンを二重着用していない	<input type="checkbox"/>
2. 接触予防策が必要な患者とその周囲部に触れる前部に着用している	<input type="checkbox"/>	2. 着用したエプロン/ガウンの裾を裾から出していない	<input type="checkbox"/>
3. 液体が多く飛散する時は液体防護性能のあるものを着用している	<input type="checkbox"/>	3. 再使用していない	<input type="checkbox"/>
<b>サージカルマスク</b>		<b>サージカルマスク</b>	
4. 血液・体液・排泄物等が鼻・口に飛散する可能性がある前部に着用している	<input type="checkbox"/>	4. 上下・表裏を確認し、鼻と口を完全に覆っている	<input type="checkbox"/>
5. 飛沫予防策が必要な患者の病室に入る前に着用している	<input type="checkbox"/>	<b>N95レスピレーター</b>	
<b>N95レスピレーター</b>		5. フィットテストで自分に合ったN95レスピレーターを確認している	<input type="checkbox"/>
6. 空気をろ過するエアロゾル対策が必要な場合に着用している	<input type="checkbox"/>	6. N95レスピレーターの着用ごとにシールチェックしている	<input type="checkbox"/>
<b>シールド/アイウェア</b>		7. ヘッドバンド締め紐は製品ごとに決められた位置に掛けられている	<input type="checkbox"/>
7. 血液・体液・排泄物等に顔に飛散する可能性がある前部に着用している	<input type="checkbox"/>	<b>シールド/アイウェア</b>	
8. 飛散量や飛散方向に合わせてシールド/アイウェアを選択している	<input type="checkbox"/>	8. 着用したシールド/アイウェアの表面を清潔に保ち、拭き取っていない	<input type="checkbox"/>
<b>手袋</b>		9. 指輪をシールド/アイウェアの代用としていない	<input type="checkbox"/>
9. 血液・体液・排泄物等に手が触れる可能性がある前部に着用している	<input type="checkbox"/>	<b>手袋</b>	
10. 接触予防策が必要な患者とその周囲部に触れる前部に着用している	<input type="checkbox"/>	10. 両面手袋を二重着用していない	<input type="checkbox"/>
<b>適切な着用ポイント</b>		11. 着用した手袋の裏面を患者から出していない	<input type="checkbox"/>
(10- ) = 点		12. 再使用していない	<input type="checkbox"/>
※ チェック項目を1ポイントとして合算		<b>適切な着用ポイント</b>	
		(12- ) = 点	
		※ チェック項目を1ポイントとして合算	

参考：個人防護具の適切な着用順序  
着用 → 脱衣

日付 20 / / 部署 確認者

図2 個人防護具適正使用チェックリスト 文献3より引用

## おわりに

「正しく使おうPPE」として3回にわたりPPEの基礎、選定、使用場面について解説しました。PPEは様々な種類があり、介護の場面でも広く使用されています。3回シリーズのまとめとしては、①感染対策の基本は標準予防策である、②状況に応じて、感染経路別予防策を追加する、③PPEは性能を保持できるように着用し、汚染を拡げないように脱衣することが挙げられます。PPEの規格や性能を理解して正しく選定し、使用場面に応じて適切にPPEを選択・着用することで感染対策が強化できることを期待しています。今回でPPEに関するシリーズは最終回となります。これまでご覧いただき、ありがとうございました。



### 引用・参考文献

- 1) CDC. Guideline for Isolation Precautions: Preventing Transmission of Infectious Agents in Healthcare Settings 2007. <https://www.cdc.gov/infection-control/media/pdfs/Guideline-Isolation-H.pdf>
- 2) 職業感染制御研究会. 感染予防のための個人防護具(PPE)の基礎知識2022年版. [http://jrgoicp.umin.ac.jp/related/ppc\\_2022/](http://jrgoicp.umin.ac.jp/related/ppc_2022/) [テキスト単体版] 感染予防のための個人防護具(PPE)の基礎知識.pdf
- 3) 職業感染制御研究会. 【福祉施設用】個人防護具適正使用チェックリスト. 2025年6月30日現在. [http://jrgoicp.umin.ac.jp/index\\_ppewg\\_ppc\\_usage.html](http://jrgoicp.umin.ac.jp/index_ppewg_ppc_usage.html)